



# 教えて！北海道百年記念塔 どうして解体されるの？ 止められないの？

## そもそも北海道百年記念塔って何？

**北海道精神の象徴です。先人を慰霊し、未来への決意を示すため建立されました**

札幌市厚別区野幌森林公園に昭和43年の「北海道百年」の中心事業として「開拓記念館」（現北海道博物館）、「開拓の村」と共に建立された高さ100mのモニュメントです。当時の町村金五知事は、道民の総意でこの塔を建てたいと「北海道百年記念塔建設期成会」を設立し、建設費5億円の半額を道民の寄附で賄いました。そして記念塔を建てる場所として「野幌森林公園」を造成しました。町村知事は、道民が折に触れてこの塔を仰ぐことで、北海道に生まれた誇りと開拓の困難を乗り越えた先祖への感謝、父祖の偉業を引き継ぐ誓いを新たにすることを期待しました。



右に記念塔、左に開拓記念館（現北海道博物館）。前方の拓けた石狩平野を見て祖先の成し遂げたことの偉大さを思い、後方の原生林を見て祖先が挑んだ困難の大きさに想いを寄せる厳肅な誓いの場としてつくられた（撮影：KEN GOSHIMA）

## 記念塔にはどんな価値があるの？

**背景、設計、技術、デザイン…国の重要文化財にもなりうる建築文化遺産です**

百年記念塔の建設では、北海道で初めて設計コンペが行われました。黒川紀章など全国から299作品が集まり、選ばれたのが当時29歳の今町出身・井口健先生の作品です。先生は「収斂と拡散」をコンセプトに数式を駆使した精緻な設計によって塔をデザインしました。建材には、錆の皮膜で内部の腐食を防ぐ「コルテン鋼」という当時の最先端素材を採用しました。百年記念塔はコルテン鋼を用いた現存する世界最大のモニュメントの可能性がります。建設の背景、設計思想、技術、デザイン……どれをとっても将来の国指定重要文化財としての資質を持っています。



ランドマークとして多くの学校の校章や校歌に用いられ、地域の歴史の一部となってきた（撮影：池内 正紀）

## 残したい人だけで金を出して守ればいいんじゃないの？

**地域には先人に感謝を捧げてまちづくりの想いを新たにすることが必要です**

「今だけ・金だけ・自分だけ」という風潮が広がる中で、道民が感謝と決意を示すシンボルを保持し、将来世代の歴史文化遺産として遺すことは「公共」の責任です。

北海道は世界でも希な極寒豪雪の地。そこをわずか100年余で欧州にも匹敵する豊かな大地に変えたのは誰でしょうか？ 郷里のために頑張ろうという決意の源は父祖への感謝です。そうした決意の象徴を否定して、どのように地域の振興を図るといのでしょうか？ 北海道は10年連続人口減少全国一です。今こそ北海道百年記念塔は守られなければなりません。



①産経新聞（平成4年11月17日）。東京で本州から記念塔保存を支援する「北海道百年記念塔を支える会」が立ち上がった。この問題は全国問題になるようにしている



③訴訟費用を確保するために Readyfor で住民訴訟支援プロジェクトを立ちあげた。2カ月余りで全国から850万円余の支援と1176人のメッセージが寄せられた

記念塔保全活動の詳細情報はこちらにアクセス  
<https://readyfor.jp/projects/100nenkinentou>

## 解体を止めるために今からできることはあるの？

**関心を寄せてください。知人友人に伝えてください。問題を広めてください**

平成4年10月義会で百年記念塔解体工事の契約を道議会で承認したことで、解体を止める方法は訴訟だけになりました。10月3日、私たちは87名の道民とともに、公有財産の善管義務を定めた「地方財政法」違反により、解体差止請求を札幌地裁に起こしました。あわせて訴訟費用を賄うためのクラウドファンディングを始めました。そしてわずかな間に全国から900万円近くの支援をいただきました。

官庁を相手にした行政訴訟はとても難しい裁判です。しかも解体工事はすでに始まっています。裁判官に「工事を止めてでも慎重に審議しなければならない」と思わせるのは「塔を守りたい」という全道・全国のみなさんの気持ちです。どうか、この問題に関心をお寄せください。知人友人にこのことを伝えてください。メッセージをお寄せください。世間の関心の高まりが塔を救います。

## 参加者大募集

記念塔裁判第2回口頭弁論に向け、世論を高めるべく次のアクションを起こします。ふるってご参集ください。

- ① 1月22日（日）**記念塔を支える会現地視察**  
13時北海道博物館前集合・現地ガイド・交流会参加者募集！
- ② 1月23日（月）**テレビ塔～道庁アピールウォーク**  
9時30分集合：テレビ塔から道庁まで歩いてアピール＆申し入れ。自由参加
- ③ 1月23日（月）**記念塔裁判勝利！決起集会**  
日時：令和5年1月23日18時30分（開場18時）  
場所：札幌市産業振興センター（札幌市白石区東札幌5条1丁目・地下鉄東西線「東札幌駅」徒歩7分）  
参加：無料（事前申込なし）
- ④ 1月24日（火）**記念塔裁判第2回口頭弁論**  
札幌地方裁判所（大通西11丁目）10時開廷  
満員の傍聴席で道民の想いを法廷に満たそう



※傍聴は申込不要で誰でも自由に入れます